

A photograph of a classroom or meeting room. Several people are seated at wooden desks, some looking towards the camera and others looking down at papers. The room has large windows in the background, letting in bright light. The overall atmosphere is one of a collaborative learning or working session.

『青年海外協力隊は
何をもたらしたか』

アカデミアでない観点から

NPO法人開発メディア代表理事
「ganas」編集長
長光大慈

紛争

政策

人権・
教育

経済

環境

社会

人・
仕事

アジア

中東

大洋州

アフリカ

中南米

欧州・
北米



アジア社会 2018年6月21日

✓ いいね! 40 ツイート

【バンドン発深夜特急(3)】インドネシアで1カ月の断食に挑戦! 空腹と喉の渇きが貧者へのやさしさにつながる?

ラマダン(断食月)が6月14日に終わった。インドネシア・バンドンに留学中の私は、身の周りにはいるイスラム教徒のように日の出から日没まで…

【続きを読む】

注目記事



犠牲者たち

ゲリラとの和平合意は本当に平和をもたらしたのか? コロンビアに蔓延する“見えない暴力”の犠牲者たち



いく?

農民の健康を支えるのは誰だ、伝統医療の担い手「クル・クメール」がカンボジアの村から消えていく?



ベナンの社会派ミュージシャン カマル・ラジ氏、「この国はいまだフ



【環境と開発の接点(1)】ポイ捨ては“文化”?! マンゴーは種を捨てれば実がなるの

お知らせ



途上国を本格的に取材できる! 日本発で唯一のプログラム『Global Media Camp』を2018年夏も実施します ~行き先はアフリカ、南米、アジア ~ 2018年6月8日



【6/2】インド帰りの群馬女子高生がぶっちゃけトーク! ~暑く熱い“カレーの国”に恋した1年間 ~ 2018年5月16日



【催行決定! 枠はあと1人! 〆切7/4】“古いインド”をアップデートしよう! 『Global Media Camp in インド』参加者募集 2018年5月14日



【早割7/9】アンコールワットの街で「援助のあり方」を考える!

協力隊の事業目的のひとつ

「国際的視野の涵養とボランティア経験の社会還元」

1) 専門性が弱いからこそ住民や同僚に寄り添い、彼らの目線に立ち、自発性を重んじる傾向があるという「弱い専門性の強さ」

2) グローバル人材は協力隊事業によって育成されたのか、元々そうした資質をもつ人が応募してきたのか（めげずに頑張り続ける力）

3) 隊員への支援のあり方（隊員と調整員との面談を定期化、支援は「事後」にする）

1) 専門性が弱いからこそ住民
や同僚に寄り添い、彼らの目線
に立ち、自発性を重んじる傾向
があるという「弱い専門性の強
さ」

- 「専門性」の弱さを自覚できるか？

環境教育、森林組合、金融マン、新卒、インセンティブの営業マン

- 「専門性の弱さ」を何でカバーするか？

おもしろい話ができる力（コミュ力）、カメラやPCを貸す力（信頼する力）、料理する力（もてなす力）、JICAのせいにならない力（自己完結力）

専門性の弱さというより「人間力」？

2) グローバル人材は協力隊事業によって育成されたのか、元々そうした資質をもつ人が応募してきたのか (めげずに頑張り続ける力)

- ・優等生タイプと「そうでないタイプ」

会社を作って人を雇う、原稿料をもらって
現地の人を使う**PC**を買う

- ・「行動するタイプ」とそうでないタイプ

ブログで情報発信する人（協力隊というだけで**PV**が上がる）、クラウドファンディングで資金調達する人（アイデアを行動に）、
帰国後は会社・**NGO**を立ち上げる

協力隊は 「成長の場」 でしかない？

3) 隊員への支援のあり方 (隊員
と調整員との面談を定期化、支援は「事
後」にする)

- ・「自分で動く隊員」にとって

JICAとの付き合い方が難しい（これ以上の支援は要らないが、ルールが邪魔？）

- ・「待ちの隊員」にとって

脱・JICA頼み。スキルアップできる喜びを伝えることが大事？

協力隊は"ベーシックインカム"。突破力・問題解決力・発信力……「個の力」が問われる時代に欠かせないスキルをアップできるという意識付けが良い？

最後に一言

協力隊OB・OGの活躍は
このところ目覚ましい！

(まだ成功とは言えないかもしれないけれど)

- ・ベナンでドローン事業を始めようとしている人
- ・アフリカ専門のメディアを立ち上げた人
- ・西アフリカの布を使って浴衣やネクタイを作り、売る人
- ・エチオピアのシープスキン製のかばんを作り、売る人
- ・「留職」（日本の会社員を途上国の**NGO**に期間限定で送り込む）というユニークな取り組みを進める人
- ・ミャンマーでお手伝いさんを育成し、駐在員家庭に派遣する人

ご清聴どうもありがとうございました